

2021/9/24
神代植物公園

植物多様性センターの「ハチジョウイタドリ」

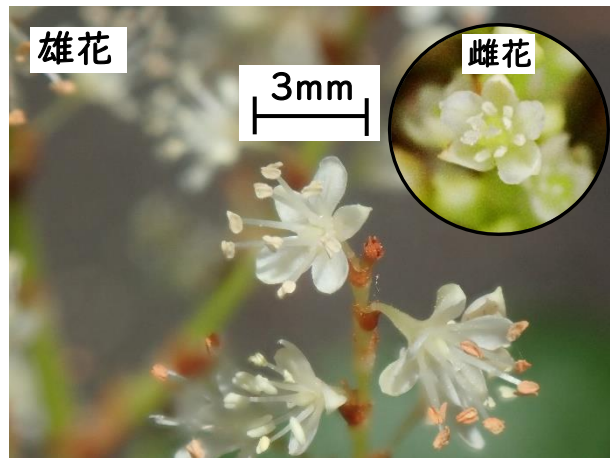
火山性草地エリアのハチジョウイタドリが開花しており見頃です。イタドリの変種で伊豆諸島の固有種になります。葉の厚さや光沢は海浜性らしさを感じます。また、海岸沿いに多く生育する本種は、強い風の影響で背丈は高く育ちません。一方、落葉広葉樹林エリアにあるイタドリの方は、花が終わり、一足先に翼状の萼に包まれた若い果実をつけています。中に少し透けて見える黒色の部分が果実になります。「イタドリ」の名前は若葉をもんで、傷口に当てると痛みがとれることから由来しているそうです。



現地の生育状態を再現するために低く剪定している。



葉は厚く、光沢がある。



雄花には、長い雄しべがでる。雌花は雄しべが短い。



イタドリ: 若い果実がたわわに実っている。